

2013年9月12日

mail ニュース

No.23・通巻298

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合
発行人 風間隆行
TEL 03-5381-0250

核兵器廃絶を一刻も早く 原水禁世界大会報告集会を開く

自治労連都庁職は9月6日、東京自治労連、自治労連東水労、都庁職病院支部、都庁職本庁支部、都庁法人一般労組、都庁69行動実行委員会とともに、原水爆禁止世界大会の報告集会を開催しました。

直属支部の高田さんの司会で、自治労連都庁職委員長の高柳京子さんが開会挨拶を行った後、フリージャーナリストの西谷文和さんが、「戦争と憲法とメディア～その利権の構造～」と題して記念講演を行いました。

西谷さんは、1960年生まれで、大阪府吹田市役所勤務を経て、現在はフリーのジャーナリストとして活動しています。「イラクの子どもを救う会」の代表でもあります。2006年度平和共同ジャーナリスト大賞受賞。テレビやラジオにもたびたび出演し、戦争の悲惨さを伝えています。今回もアフガンでの取材を終えて、8月23日に帰国したばかりのところを東京まで来ていただきました。



西谷さんはアフガンの取材で撮影した映像も使い、子どもを含む市民が被害者となっていること、特に劣化ウラン弾について詳細にお話しました。



さらに、戦争が嘘やでっち上げで始まっていることが多いと述べ、1990年に行われたナイラ証言（イラク軍兵士が新生児を放置し、死なせたことを涙ながらに語った）が大量に集中して宣伝され、湾岸戦争の布石となったが、2年後にナイラはクエート駐米大使の娘であることが発覚したことなどを挙げました。

また、現代の戦争は広告などによる情報戦争に負う部分が多く、日本のテレビがどのようにイラク戦争を伝えてきたかを具体的に伝え、戦争と原発は根が同じである、それは利権と核（兵器）、そして差別の構造であると述べました。

お話は橋下維新の会、従軍慰安婦問題、チョットだけ東京の石原前知事も出てきて、果てはボブ・マーリーの「no woman no cry」が映像のBGMで流れるなど、まさに縦横無尽で、時間が足りなかったのが唯一の反省点でした。お持ちいただいた書籍、DVDも完売しました。



次に、自治労連青年部書記長の岡崎さんが特別報告を行いました。自治労連は今、2010年に引き続き2015年に行われるNPT（核兵器不拡散条約）検討委員会を成功させるために取り組んでいます。また、2009年の「おきプロ」に続き、来年6月に行う「おきプロNEXT」について、多くの青年が参加し、学び、交流し、つながろうと訴えました。

その後、原水禁世界大会に参加した方の中から、教育庁支部の富樫さん、自治労連東水労の横山さん、衛生局支部の川手さんが報告を行いました。

最後に、自治労連東水労書記長が閉会挨拶を行い、今年の原水禁世界大会報告集会は閉会しました。多忙な中、参加者は43名に達しました。皆さん、ご協力ありがとうございました。



報告集会の主なメニュー

- ・ 講演 フリージャーナリスト **西谷文和 さん**
(元大阪府吹田市役所職員)
- ・ 特別報告 2015年NPT会議に向けた取り組み
自治労連青年部書記長 **岡崎 加奈子 さん**
- ・ 2013原水爆禁止世界大会参加者からの報告